

令和3年度の取組み

- 1 本校の研究体制（2部構成）
 - ・ステップアップ部会……学習に関する研究推進
 - ・ハートフル部会……行事（学校・児童会）に関する企画・運営
- 「ハートフル部会」の取組み

学校行事が削減・縮小される中、子どもたちが楽しんで活動する場を少しでも確保しようと、コロナ感染症対策をふまえた行事の実施方法を検討した。実施は子ども主体とし、達成感獲得や意欲向上を目指した。
- 2 学校行事の実践
 - 体育大会
 - ・子どもの手による応援合戦企画（内容決定から練習、準備まで）
 - ・競技・式典役員等の仕事内容の決定と役割分担
 - ・全校種目におけるリーダー（6年生）の活躍

※基本的に教師主導にならないよう、子どもの意見を取り入れ、任せられるものは任せるようにした。
 - 自慢大会

6年生が全校に参加者を募り、業間の時間に自分の特技を発表する場を設け、多くの児童が参加した。企画から運営まですべて6年生が行った。
 - 全校で「だるまさんが転んだ」

6年生の企画行事第2弾。全校児童（希望者）でオリジナル「だるまさんが転んだ」を実施。
 - クリスマス集会

6年生の企画行事第3弾。縦割り班ごとにツリーに飾り付けをし、集会後は児童玄関に掲示した。集会では、班対抗のゲームも企画し、司会進行からゲーム説明係まで役割分担もしっかりできた。

<活動の様子>



体育大会の応援



自慢大会



全校だるまさんが転んだ



クリスマス集会

成果と課題

- ・学校行事の実施に向けて、コロナ感染症対策や基本要綱は教師側が立案したが、準備・運営に関しては、原則子ども主体で実施できた。子どもたちの意見を尊重し、責任をもたせ取り組ませた結果、活動の達成感から次に挑戦しようとする姿が多く見られた。
- ・今年度は高学年の活動を中心に取り組んだが、今後は学年間交流や保幼小連携活動を子ども主体で実施し、自分たちで作り上げる楽しさを体験させていきたい。